

しまね い ち い ね っ と

(公財)ふるさと島根定住財団
(しまね県民活動支援センター)
<https://www.teiju.or.jp/>

2019

7

月号 Vol.135



今月の見どころ

P1. 「地活っちゃんが行く！」実は！意外にシンプル！？
団体のロジックモデルを作成してみよう

P3. 助成金・イベント情報

P2. 「NPO 事務局セミナー」「地域づくり応援成事業」
告知、しまね田舎ツーリズムレポート

P4. 島根で頑張る人
森と畑と牛と 大石 亘太さん



第36回
っちゃん
がいく！

＼実は！意外にシンプル！？／

団体のロジックモデルを作成してみよう



みなさん『ロジックモデル』を知っていますか？活動や事業が目的を達成するまでの因果関係を、論理的に示したもののことです。言葉は難しいですが、自分たちの活動や考え方を整理するのに役立つ手法です。

今回は、その基本と作成のヒントについてご紹介します。「思いはあるけど、活動を言葉で説明しにくい」そんな団体さんはおススメですよ！



ロジックモデルを作ってみると…！こんな変化が！？

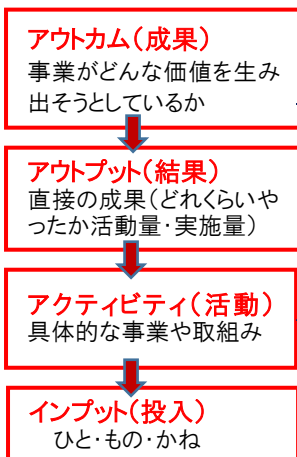
こんなお悩み(課題)はありませんか？

- (; ∇ ;) 助成金の申請書がうまく書けない～。
- 事業計画…。実行性のあるものにしたい…。
- 最近、マンネリ化している気がする…。
- スタッフのモチベーションを上げたいんだけど…。
- 気が付けば、一人ぼっち…。
- 組織がまとまらない！？意見がバラバラ…。

- ★実際に時系列立てて整理することで、**明確**にできる。
- ★事業の**優先順位**を考えることができる。
- ★**新たな課題、疑問**に気付ける。
- ★団体スタッフ同士で、**共有ビジョンとゴールを確認**できる。
- ★みんなを巻き込む事でスタッフに**当事者意識**が生まれて、**やる気がUP!**
- ★事業を客観視でき、**改善**につながる。

＼ 実際にロジックモデルを作ってみよう！ /

【基本の形】



Point!

- ✓ **最初に** やりたいこと、活動したいことから出発せず、何を実現するために、何をどうするのか **目的をまず確認!**
- ✓ 事業の背景にある**課題と具体的なニーズ**を考える。
- ✓ **成果の指標をみんなで考える。**
(何をどのような状態にしたいのか？成果を測る「指標」を団体内でしっかりと話し合う。)
- ✓ その結果が**成果に結びついて**いるか確認(因果関係)。(もっと効果的な手段はないか、前例主義になってないか)
- ✓ 「誰に」「どんなサービス」を「どう提供するか」考える。
- ✓ **最後に** 一連の流れに、**整合性があるか**確認!

団体みんなで一緒に考えてみよう!



6/6 東部会場 22 名

6/7 西部会場 10 名 参加

「成果の導き出し方ワークショップ」

ロジックモデル作成についてもっと詳しく知りたい方は[こちらを検索!](#)

日本財団 ロジックモデル作成ガイド



※助成金申請をお考えの団体様には、事前にロジックモデルを作成されることをおすすめします。お気軽にご相談下さい。
地域活動支援課 TEL: 0852-28-0690



自団体の定款を持って
参加しよう！

定員
30名

事務力強化!!!! NPO法人事務局セミナー開催！

初めてNPO事務の担当になり、不安を感じている方や、さらに事務力をアップしたい方におすすめのセミナー（全3回）が、7月からスタートします。シリーズ1では定款の基本や所轄庁手続きが学べます。定款の見直しを検討している団体にとっても良い機会です！事務力を磨いて組織全体のレベルアップを目指し一緒に学びましょう！！是非ご参加お待ちしております。

浜田会場

7月10日（水）9:30～16:30

【会場】 いわみぶらっと会議室
（浜田市相生町1391-8）

※午前・午後とも参加の場合は昼食をご用意ください。

出雲会場

7月11日（木）9:30～16:30

【会場】 島根県出雲合同庁舎 601
（出雲市大津町1139）



講義内容

シリーズ
1

参加申込

【午前】9:30～12:30 ・定款の見直し・登記内容の確認

【午後】13:30～16:30 ・所轄庁各種手続き

<https://furefure-shimane.jp> ウェブフォームから
詳細はこちら
<https://www.shimane-ikiiki.jp/events/3964>



講師は岡山NPOセンター
加藤彰子さんです！
この機会に、どんどん質問、
相談してください！
ぜひお申込みください！

地域課題解決、地域づくりの取り組みを応援します！

第1回『地域づくり応援助成事業』

申請〆切:6月28日(金)

対象者	県内のNPO法人、民間団体、グループ（構成員5名以上）、商業法人等
対象事業	団体の立ち上がり期の活動や新たな事業展開（本格的な規模拡大、グレードアップ等）を図る活動で、継続的な実施が見込めるもの
対象経費	謝金/旅費/材料費/消耗品費/使用料/通信運搬費/広告費/印刷製本費/調査・研究費/設備・備品費等
助成限度額	30万円以上150万円以下 （ただし、対象経費の2/3以内）

申請を検討されている方は、
必ず事前に担当まで
ご相談下さいね。



フレフレしまね



地域づくり応援助成金の申請団体を募集中!

しまね地域活動応援サイト「フレフレしまね」では過去の助成事例を掲載しています。申請書類もダウンロード可能！申請までの流れが確認できますので是非ご覧下さい。



<https://furefure-shimane.jp>



しまね田舎ツーリズム

広島でPR活動をしてきました!

レポート

5月24日～26日に行われた「ロハスフェスタ広島」でしまね田舎ツーリズムの活動や取り組みについてPRを行いました。25、26日には、松江市八束町の田舎ツーリズム施設「ココリト大根島」が参加し、島根県の花、ぼたんを使用したオリジナルのハーバリウム製作体験を提供しました。小さなお子様から大人まで、たくさんの方々に楽しんでいただきました。

ハーバリウムとは、植物標本のこと。ドライフラワーやプリザーブドフラワーをガラス瓶に詰めて作るフラワーアレンジメントの一つです。

「ロハスフェスタ」って!?

ロハスとは、健康で持続可能な生活スタイルのこと。ごみを出さない暮らしや健康志向のグルメ、アンティークやリサイクル品利用などロハスな暮らしを紹介するイベント。



詳細は、しまね田舎ツーリズムポータルサイト「おいでよ!しまね」をごらん下さい。

<https://www.oideyo-shimane.jp>

今月の和歌

いちにのさん 逆さにさした かさ持って 祖父の育てた 梅の木ゆらす(三重県津市 宮口真緒さん)

第4回農業・農村はかっこいい!和歌募集 優秀賞作品



「横寺敏夫 患者と家族の支援基金」助成

- 締切日：令和元年6月30日(日)
- 対象：療養中の患者さんやご家族のサポートを積極的にいう団体及び個人
- 対象事業：日本国内において実施される活動で、次のいずれかを満たすもの。①患者さんやご家族に対する様々な支援活動②その他この基金の目的達成に資する活動
- 助成金額：1事業あたり上限50万円
- 問合せ先：(公財)公益推進協会 基金事務局 担当:高野
TEL：03-5425-4201 FAX：03-5405-1814
<https://www.shimane-ikiiki.jp/subsidies/4062>



太陽生命厚生財団「研究助成」

- 締切日：令和元年6月30日(日)必着
- 対象：非営利の民間団体等および個人
- 助成内容：社会福祉法人または民間機関等が実施する高齢者保健・医療、生活習慣病に関する研究または高齢者福祉に関する研究または調査に必要な費用
- 助成金額：1件あたり30万円から50万円
- 問合せ先：(公財)太陽生命厚生財団 事務局
TEL・FAX：03-6674-1217
<https://www.shimane-ikiiki.jp/subsidies/4073>



第39回 緑の都市賞

- 締切日：令和元年6月30日(日)当日消印有効
- 募集部門：【緑の市民協働部門】主に市民団体、【緑の事業活動部門】主に民間事業者、【緑のまちづくり部門】主に市区町村
- 表彰内容：内閣総理大臣賞(活動助成金20万円)、国土交通大臣賞3点以内(同15万円)、都市緑化機構会長賞3点以内(同10万円)、奨励賞若干(同5万円)※活動助成金は【緑の市民協働部門】の受賞団体のみを対象
- 問合せ先：(公財)都市緑化機構「緑の都市賞」事務局
TEL：03-5216-7191 FAX：03-5216-7195
<https://www.shimane-ikiiki.jp/subsidies/4054>



2019年度 あしたのまち・くらしづくり活動賞

- 締切日：令和元年7月3日(水)
- 募集対象：地域住民が自主的に結成し運営している地域活動団体、または、地域活動団体と積極的に連携して地域づくりに取り組む企業、商店街、学校等。活動に2年以上取り組み、大きな成果をあげて活動している団体。活動範囲は市町村地域程度まで。
- 表彰内容：内閣総理大臣賞(20万円)、内閣官房長官賞(10万円)、総務大臣賞(10万円)、主催者賞5件(5万円)
- 問合せ先：(公財)あしたの日本を創る協会
TEL：03-6240-0778 FAX：03-6240-0779
<https://www.shimane-ikiiki.jp/subsidies/4081>



2019年度 公益信託 しまね女性ファンド助成事業

- 締切日：令和元年7月15日(月)当日消印有効
- 対象事業：島根県の女性たちが自主的・主体的に企画実施する事業、一般に開放され、地域への影響力が大きくネットワークの広がりがある事業
- 助成金額：1万円単位で上限50万円(対象経費の2/3を助成)
*男女共同参画社会づくりの普及・啓発活動は、1万円単位で上限10万円(対象経費を全額助成)
- 問合せ先：(公財)しまね女性センター
TEL：0854-84-5514 FAX：0854-84-5589
<https://www.shimane-ikiiki.jp/subsidies/4082>



NPO 基盤強化資金助成 住民参加型福祉活動資金助成

- 締切日：令和元年7月19日(金)17:00まで
- 対象団体：次の3つを全て満たしていること①西日本地区に所在する団体②5人以上で活動する営利を目的としない団体(法人格の有無を問わない)ただし、社会福祉法人を除く③地域における高齢者・障害者・子供等に関する複合的な生活課題に、地域住民が主体となって包括的な支援を行う活動
- 助成金額：1団体あたり上限30万円
- 問合せ先：(公財)損保ジャパン日本興亜福祉財団
TEL：03-3349-9570 FAX：03-5322-5257
<https://www.shimane-ikiiki.jp/subsidies/4080>



松江初開催！ 話題のバブルサッカーで遊べ！

- 内容：第1部ラジオ体操、第2部バブルサッカー
- 開催日時：令和元年6月30日(日)14:00～15:20
- 開催場所：松江総合体育館
- 参加費：ラジオ体操とバブルサッカー
大人1,300円(中学生以上)、子供700円(小学生)
※小学生以下のお子さんは体験ができません。
- 申込：第2部のみ事前申込要
※先着大人30名、子供30名まで
- 主催：松江スポーツアクティビティ
- 問合せ先：同上 supomatsu@gmail.com
<https://www.shimane-ikiiki.jp/events/3987>



海馬文様の展開 ～縄文時代後期のブランド～

- 縄文時代後期の磨消縄文技法と呼ばれる土器装飾の中に見られる海馬文様の変化を追います。出雲地方を中心に岡山県や鳥取県の遺跡から出土した海馬文様のある土器を紹介します。
- 開催期間：令和元年7月8日(月)まで
 - 会館時間：9:00～17:00(入館は16:30まで)
 - 会場：荒神谷博物館(出雲市斐川町神庭873-8)
 - 入館料：一般420円、高大生210円、小中生110円
 - 主催：出雲市、荒神谷博物館(NPO法人出雲学研究所)
 - 問合せ先：荒神谷博物館
TEL：0853-72-9044 FAX：0853-72-7695
<https://www.shimane-ikiiki.jp/events/3986>



命と食と直結した現場から

ダムをのぞむ小高い放牧場。48頭の酪農牛が、それぞれのお気に入りの場所でのんびりと草をはむ。一頭一頭名前がついたこの牛たちと一緒に、大石さんは365日牧場主として過ごしつつ、任意団体「森と畑と牛と」の代表幹事として、1次産業の6次産業化を図る「牧場スイーツ NOYAMA」の企画開発等に挑んでいる。目指すのは、「観光牧場であり、生産現場であり、様々な人が出会い学べる場」の創造だ。

松江の町中の公務員家庭で育った大石さんが放牧酪農を志したのは、知夫里島で見た放牧牛の様子に心動かされたから。そこでは、一般の道路を牛が歩き、人の生活圏の中に自然と牛が存在していた。

木次乳業を通じて牧場主募集の情報を得た時、迷わず手を挙げた。

木次乳業社員の協力も得ながら牧柵等を手作りし、平成26年に出来上がった放牧場は24.5ha。牧舎からの牛の出入りは常に自由で、山野を踏みしめ、草をはむ牛の行動が、天然の芝公園を現在も進行

形で造成している。

牧場を観光や体験の場として期待する声の高まりを受け、「牧場スイーツ NOYAMA」は平成29年にスタート。商品開発では複数回の試作を繰り返した結果、シンプルに牛乳の味わいで勝負するミルクシュークリーム(250円/個)を主力商品とし、現在、年間約1千個の販売を達成した。近隣イベントでの販売をメインに、リピーターも獲得している。

さらに受注生産方式で、クリスマスケーキやバースデーケーキの製造も。将来的には牧場内に常設店舗も構え、ギフトセット等の開発も進めていく考えだ。

年間4百人規模で受け入れている子供たちの畜産体験事業では、子牛への哺乳や餌やり体験の場等を提供。牛の温もりを感じながらの体験をとおして、「それまでは牛乳を残していた子が、残さず飲めるようになった」例もあったという。

「放牧場は、生き死にがパッケージとしてそこに存在している。普段の暮らしではあまり感じる機会がない命を、ダイレクトに実感してもらえる」と大石さん。

命と食と直結した現場から、今日も牛と共に、地域と人の営みを支え続ける。(K)



森と畑と牛と
代表幹事 大石亘太さん

昭和59年松江市生まれ。広島大学生物生産学部卒業後、山口県の畜産振興協会に就職。平成24年に奥出雲町へ移住し、Uターンしまね産業体験事業を活用して木次乳業で働きながら、「ダムの見える牧場」を準備。平成26年から同放牧場の運営をスタートした。奥出雲や雲南市の同志と任意団体「森と畑と牛と」を平成28年に立上げ、代表幹事として活動している。趣味は、仕事をしながら聞けるラジオ鑑賞等。

主な活動

「森と畑と牛と」では、牧場スイーツ NOYAMA の開発をはじめ、地域で培われてきた食文化体験事業、里山再生の一環としての焼畑、山畑での作物栽培事業等に取り組む。平成28年度地域づくり応援助成(立上げ支援)採択団体。

「ダムの見える放牧場」で放牧酪農を営む



子供達の畜産体験事業



県内 NPO 情報 H31.4.30 現在

1	県内NPO法人数	全体	289
		内認定	6
		内仮認定	1
2	新設NPO法人数		0
3	解散NPO法人数		0
4	しまね社会貢献基金登録団体数		57
5	だんだん認証レベル取得団体数	全体	46
		内レベル2	34

発行元 公益財団法人 ふるさと島根定住財団

(しまね県民活動支援センター)

【松江事務局】
〒690-0003 松江市朝日町478-18 松江テルサ3階
TEL (0852)28-0690 FAX (0852) 28-0692
E-mail: chiiki@teiju.or.jp

【石見事務所】
〒697-0034 浜田市相生町 1391-8 シティパルク
浜田 2階 石見産業支援センター「いわみびらっと」内
TEL (0855)25-1600 FAX (0855)25-1630
E-mail: iwami@teiju.or.jp

